

令和7年度
岩国徴古館 年報

岩国市立博物館 岩国徴古館

目 次

岩国徴古館について

・岩国徴古館の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・建物について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・施設の所在・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・施設の現況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
・沿革・・・・・・・・・・・・・・・・	2
・基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・主な事業・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・観覧について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・組織・職員・・・・・・・・・・・・・・・・	4

令和7年度事業

【管理運営】

1. 開館日数・入館者数・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2. 収蔵資料数・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3. 施設管理・・・・・・・・・・・・・・・・	4

【事業報告】

1. 展示活動	
（1）常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・	5
（2）企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・	6
（3）特集ミニ展示・・・・・・・・・・・・・・・・	23
2. 教育普及事業	
（1）郷土史研究会・・・・・・・・・・・・・・・・	24
（2）古文書講座・・・・・・・・・・・・・・・・	25
（3）博学連携・・・・・・・・・・・・・・・・	25
（4）その他・・・・・・・・・・・・・・・・	26
3. 調査研究事業	
（1）研修会・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・	28
4. 資料収集・管理・利用・保存	
（1）資料収集（寄贈・寄託・購入・移管）・・	29
（2）資料管理・・・・・・・・・・・・・・・・	36
（3）資料利用・・・・・・・・・・・・・・・・	36
（4）資料保存・・・・・・・・・・・・・・・・	36
5. 情報発信	
（1）広報誌・・・・・・・・・・・・・・・・	37
（2）ウェブサイト・・・・・・・・・・・・・・・・	37
（3）SNS・・・・・・・・・・・・・・・・	37
6. 刊行物等	
（1）刊行物等の販売・・・・・・・・・・・・・・・・	38

条例・施行規則・・・・・・・・・・・・・・・・	40
-------------------------	----

岩国徴古館について

岩国徴古館の目的

郷土に関係のある歴史・芸術・民俗および産業などに関する資料などを収集、保存、展示して、市民の利用に供するとともに、市民の文化向上に貢献し、それと同時に研究会や講演などを通じて郷土の歴史や伝統・文化などを市民により深く知ってもらうことを目的としています。

建物について

岩国徴古館は、昭和20年（1945）に完成しました。最後の岩国藩主である吉川経健の弟・重吉の、郷土に図書館と博物館を、という遺志を実現したものと言われており、戦時中に建てられた珍しい博物館と言えます。

設計者は旧制岩国中学校を卒業した佐藤武夫です。早稲田大学で建築を学んだ佐藤は、戦時下の限られた資材を最大限に活用しました。構造体にはレンガを使用し、外壁には溶鉱炉から出る鉱滓で作ったブロックを貼って装飾としています。内部はこげ茶に塗った壁板と白漆喰のコントラストを利用して、落ち着いた雰囲気となっています。また、灯火管制への対策として天窓から自然光を採光する等の工夫もされていましたが、これは現在わずかに面影を残すのみとなっています。なお、竹筋コンクリートを使用しているとの説もありますが、現在までの調査では明らかになっていません。低く抑えた洋風の外観、入口の列柱、内部の裾広がりや螺旋階段等、工夫が随所に施されています。

施設の所在

山口県岩国市横山二丁目7番19号

施設の現況

敷地 4,075.00 m²

本館 煉瓦造（一部木造）瓦葺

建坪（一階） 573.82 m²

エントランス

第一展示室

第二展示室

図書室・郷土史研究室

事務室・倉庫・トイレなど

二階 118.84 m²

中二階展示室

倉庫など

第一收藏庫 木造瓦葺

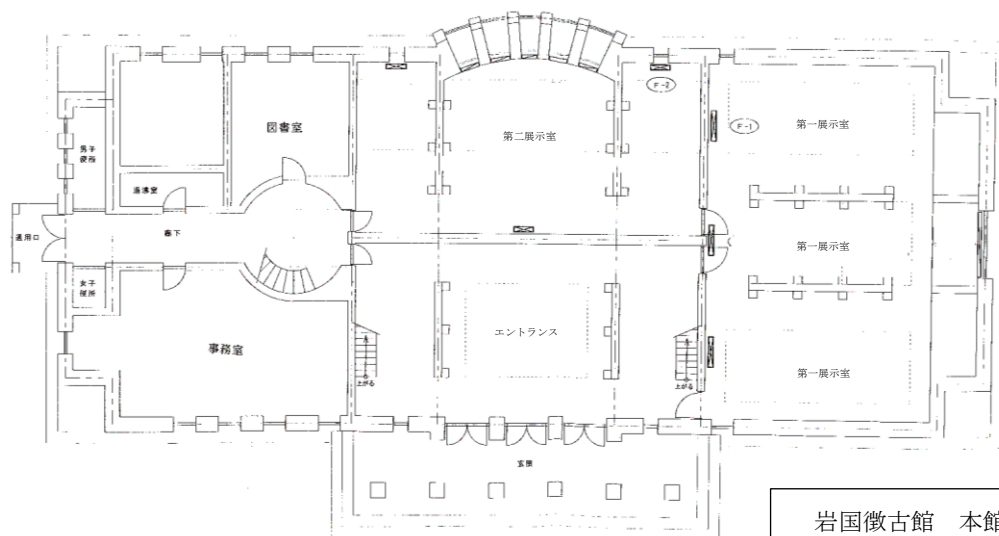
建坪（一階） 87.91 m²

二階 55.14 m²

第二收藏庫 木造瓦葺

建坪（一階） 94.90 m²

二階 64.98 m²



岩国徴古館 本館1階 平面図

沿革

昭和 15 年（1940）12 月 21 日	財団法人吉川報効会の理事会で岩国徴古館の設立を議決
昭和 17 年（1942）9 月 27 日	岩国市横山に本館の建築工事起工
昭和 19 年（1944）4 月 1 日	子爵吉川家から寄付の美術工芸および歴史資料をもって岩国徴古館設立
昭和 20 年（1945）3 月 10 日	本館の建築工事竣工
昭和 20 年（1945）6 月	陸軍燃料廠治療所に徴用される
昭和 21 年（1946）4 月	終戦の時、陸軍燃料廠治療所への徴用が解除されたが、その後図書館が本館に仮移転される
昭和 25 年（1950）4 月	図書館が元の位置へ移転し、博物館として開館
昭和 25 年（1950）10 月 1 日	館内に岩国市史編纂所を設置
昭和 26 年（1951）3 月 17 日	岩国市議会において、館の施設および資料を財団法人吉川報効会から市に寄付移管されることを議決
昭和 27 年（1952）4 月 4 日	岩国市徴古館設置条例を施行
昭和 27 年（1952）4 月 17 日	博物館法による公立博物館に指定
昭和 27 年（1952）4 月 22 日	岩国市徴古館館則を施行
昭和 27 年（1952）8 月 29 日	博物館法による登録完了
昭和 27 年（1952）11 月 1 日	岩国市教育委員会の管理となる
昭和 28 年（1953）6 月 4 日	岩国市徴古館特別観覧規程、同寄贈規程、同貸出規程を施行
昭和 32 年（1957）6 月 10 日	『岩国市史』刊行
昭和 32 年（1957）8 月 31 日	館内の岩国市史編纂所を廃止
昭和 39 年（1964）4 月 1 日	岩国市徴古館条例を施行（岩国市徴古館設置条例を廃止）
〃	岩国市徴古館条例施行規則を施行（岩国市徴古館館則を廃止）
昭和 43 年（1968）3 月 17 日	郷土史研究会第 1 回目を開催
昭和 44 年（1969）5 月 1 日	館内に岩国市史編纂事務局を設置
昭和 45 年（1970）12 月 20 日	『岩国市史』上巻を刊行
昭和 46 年（1971）12 月 20 日	『岩国市史』下巻を刊行
昭和 47 年（1972）3 月 31 日	館内の岩国市史編纂事務局を廃止
昭和 48 年（1973）6 月 30 日	岩国市徴古館条例を施行（旧条例を全部改正）
	岩国市徴古館条例施行規則を施行（旧施行規則を全部改正）
	岩国市徴古館特別観覧規程、同寄贈規程、同寄託規程および同資料貸出規程を廃止
平成 3 年（1991）10 月 9 日	吉川家より旧藩記録・図書類を寄贈される
平成 10 年（1998）1 月 16 日	国の登録有形文化財に登録
平成 18 年（2006）3 月 20 日	市町村合併（1 市 6 町 1 村）
	岩国市徴古館条例を施行（平成 18 年 3 月 20 日条例第 288 号）
	岩国市徴古館条例施行規則を施行（平成 18 年 3 月 20 日教育委員会規則第 56 号）
	岩国徴古館に勤務する職員の服務規程を施行（平成 18 年 3 月 20 日教育委員会訓令第 10 号）
	岩国市博物館収蔵資料審査会規程を施行（平成 18 年 3 月 20 日教育委員会訓令第 12 号）
令和 2 年（2020）7 月 7 日	DOCOMOMO Japan 主催「DOCOMOMO Japan 選定 日本におけるモダンムーブメントの建築」の一つに選定される
令和 3 年（2021）3 月 31 日	岩国市博物館等施設再整備計画策定
令和 4 年（2022）3 月 31 日	岩国市博物館基本計画策定

令和4年（2022）7月26日	景観法による景観重要建造物に指定（岩国徴古館及び収蔵庫）
令和5年（2023）3月31日	岩国市博物館整備基本設計業務完了
令和6年（2024）10月31日	岩国市博物館建築積算見直し業務完了
令和6年（2024）10月31日	岩国市博物館設備積算見直し業務完了
令和7年（2025）12月15日	岩国徴古館アスベスト分析調査業務完了
令和8年（2026）3月19日	岩国市博物館駐車場整備ほか設計業務完了
令和8年（2026）3月19日	岩国徴古館改修設計業務完了
令和8年（2026）3月31日	岩国徴古館展示実施設計業務完了

基本方針

岩国市総合計画に基づき、市民が歴史や文化を学び、身近に感じることで、市への誇り・愛着を醸成するとともに、歴史文化の継承につながる環境を構築するために、博物館・資料館の活用等を通じた歴史文化の学習機会の提供や発信等を推進します。

- 市民が本市の多様な歴史や文化、先人の功績を一体的に学び、未来へ引き継ぐことができるよう、博物館の整備を行います。
- 多くの市民が貴重な資料を目にすることができるよう、企画展の充実をはじめ、展示場所や手法などを多様化させることによって、資料の一層の活用を図ります。
- 幅広い世代が歴史を学ぶことができるよう、各種講座の充実、学校との連携強化を図ります。

主な事業

- （1）郷土に関係のある歴史・芸術・民俗および産業などに関する実物ならびに模型等（以下「資料」という）の収集・保管および展示
- （2）資料の専門的・技術的研究
- （3）資料の解説・目録・調査研究の報告書等の作成
- （4）地方の文化財に関する講演や研究会の開催または援助
- （5）他の博物館・図書館および公民館等との連携協力
- （6）所蔵資料ならびに地方文化財についての案内書等の作成および頒布
- （7）一般市民の研究・調査の援助や指導
- （8）学校への出前授業、体験講座等の博学連携事業

観覧について

観覧時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は次の平日）、年末年始（12月29日～1月3日）、
展示替え期間（年6回）、維持修繕等による臨時休館あり

入館料 無料

館内貸出車イス 有 ※中2階展示室を除き、観覧可

組織・職員

館長 — 副館長 — 主事（4名）
 会計年度任用職員（2名）

館長	田中 寛二
副館長（学芸員）	松岡 智訓
主事（学芸員）（～R 7.12）	枝元 咲
主事（学芸員）	濱保 仁志
主事（文化財専門員）	岩崎 麻衣子
主事（学芸員）	末田 陽香

令和7年度事業

【管理運営】

1. 開館日数・入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開館日数	26	22	25	23	27	24
入館者数	5,193	3,698	2,924	1,631	2,020	1,922

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数	23	26	19	24	24	21
入館者数	2,659	4,348	1,544	1,902	2,144	3,353

	年間合計
開館日数	284
入館者数	33,338

2. 収蔵資料数 45,148点（令和8年3月31日現在）

3. 施設管理

- ・年間を通じて、施設の安全確認や防災・防犯設備、空調設備および浄化槽の維持点検を実施
- ・令和8年1月14日（水）消防訓練
 岩国地区消防組合中央署指導の下、通報及び避難経路の確認、避難訓練を実施

【事業報告】

1. 展示活動

(1) 常設展示

会場：エントランス

○錦帯橋コーナー

錦帯橋の成立について、パネルと映像で紹介

錦帯橋の模型を展示

○中津居館跡一括出土銭展示

平成 23 年度の調査で出土した、中津居館跡一括出土銭を展示

パネルで解説

会場：第二展示室

○岩国の歴史パネル解説

戦国時代から江戸時代の岩国をパネルで解説

○幕末維新記念コーナー

幕末維新における岩国の役割や人物を広く紹介

- ・幕末維新DVD「岩国真話～知られざる幕末維新～」の上映

幕末維新における岩国の役割や人物を紹介する映像

岩国領主・吉川経幹を中心に明治維新までの歴史を山口県出身の声優・ナレーターである若本規夫氏の語りとドラマなどで紹介

- ・幕末維新データベース

タッチパネルで自由に検索ができ、赤禰武人や東沢瀉などゆかりの人物や当時の事件を、音声や映像、写真や文字で詳しく紹介

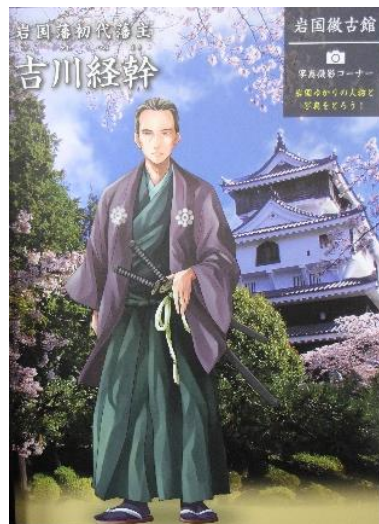
- ・資料・パネル展示

幕末維新の出来事について書かれた実際の書物や資料、時代背景や事件などを時系列でまとめたパネルを展示

市内各地に残る史跡も紹介

- ・記念撮影コーナー

岩国ゆかりの人物のパネルを設置



(2) 企画展示

会場：第一展示室

企画展一覧

令和7年4月1日～令和8年3月31日までに実施した企画展は、次のとおり

企画展名		会期
1	青龍軒盛俊－岩国の刀工展－	令和7年3月9日（日）～令和7年5月11日（日）
2	昭和時代の岩国	令和7年5月18日（日）～令和7年7月13日（日）
3	出版から見る江戸時代	令和7年7月19日（土）～令和7年9月28日（日）
4	吉川広家・経家の生きた時代	令和7年10月5日（日）～令和7年12月14日（日）
5	先人たちの手紙	令和7年12月21日（日）～令和8年3月1日（日）
6	岩国徴古館新収蔵資料展 2026	令和8年3月8日（日）～令和8年5月10日（日）

【企画展1】

青龍軒盛俊—岩国の刀工展—

1. 概要

江戸時代後期から幕末にかけて活躍した刀工（刀鍛冶）・青龍軒盛俊を中心に岩国の刀工たちに関連する資料を紹介（担当学芸員：濱保 仁志）

2. 会期

令和7年3月9日（日）

～令和7年5月11日（日）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、その次の平日）

3. 開館日数 36日（ただし、令和7年4月1日から5月11日まで）

4. 入館者数 7,268人（ただし、令和7年4月1日から5月11日まで）

5. 展示目録

No.	資料名	時代	備考
第1章 絵画の中の偉人たち			
1	青龍軒盛俊肖像画	江戸時代末期	
2	御家中系図 イ下	江戸時代末期	
1-1 青龍軒盛俊の江戸行き			
3	暮沙汰帳 天保十一年	天保11年（1840）	
4	輪九曜十文字銜	江戸時代末期	
5	諸証文帳 天保八～十一年	天保12年（1841）	
6	長運斎綱俊之免状	天保9年（1838）	
1-2 青龍軒盛俊の後進育成			
7	諸証文帳 嘉永元～五年	嘉永6年（1853）	
8	暮沙汰帳 元治元年	元治元年（1864）	
9	青龍軒盛俊之目録	江戸時代末期	
1-3 盛俊作刀の最盛期			
10	諸証文帳 天保十四～弘化四年	嘉永元年（1848）	
11	諸証文帳 文久元～四年	慶応2年（1866）	
12	諸証文帳 慶応三～四年	明治4年（1871）	
第2章 描かれる歴史的事件			
2-1 青龍軒盛俊（二代盛俊）			
13	青龍軒盛俊（二代盛俊）之免状	明治30年（1897）	
2-2 蒼龍軒盛俊（三代盛俊）			
14	蒼龍軒盛俊（三代盛俊）肖像画	昭和時代初期	
15	作刀道具	年代不明	
第3章 青龍軒盛俊の刀剣			



16	脇差（青龍軒盛俊作）	天保 13 年（1842）	
特別展示	大太刀（青龍軒盛俊作）	嘉永 6 年（1853）	
17	刀（青龍軒盛俊作）	元治元年（1864）	
18	脇差（青龍軒盛俊作）	慶応 2 年（1866）	
19	刀（青龍軒盛俊作）	元治元年（1864）	
20	拵	元治元年（1864）	
21	刀（蒼龍軒盛俊作）	昭和時代初期	
第 4 章 岩国ゆかりの刀剣			
22	短刀（無銘）	年代不明（室町時代後期）	
4-1 二王派			
23	刀（二王方清作）	江戸時代中期	
4-2 藤村国俊			
24	刀（藤村国俊作）	昭和 12 年（1937）	
25	短剣（藤村国俊作）	年代不明	
第 5 章 岩根氏・阿部氏			
26	証記抜萃類聚（公儀え附出）	享保 6 年（1721）頃	
27	御家中系図 ア	江戸時代末期	
28	諸証文帳 天保十一～十四年	弘化元年（1844）	
29	橋方御普請役者注文	延宝 2 年（1674）	
第 6 章 刀装具			
彫金師・永田氏			
30	彫物絵図	江戸時代中期	個人蔵
31	〔彫物下図帖〕	江戸時代中期	個人蔵
参考	刀剣研究 第十四巻第九・十号	昭和 3 年（1928）	個人蔵
32	縁・頭（永田如竹作）	江戸時代末期	個人蔵
33	鐔（片岡忠義作）	江戸時代前期	個人蔵

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館所蔵

6. 関連行事

（1）担当学芸員による展示解説

日時：①令和 7 年 3 月 15 日（土） 10 時～10 時 30 分

②令和 7 年 4 月 13 日（日） 14 時～14 時 30 分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：11 人（4 月 13 日分のみ）

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「脇差（青龍軒盛俊作）」 1 個 200 円

【企画展 2】

昭和時代の岩国

1. 概要

昭和時代の始まりから終わりまで年代順に、くらしや文化、岩国で起こった出来事について紹介

(担当学芸員：末田 陽香)

2. 会期

令和 7 年 5 月 18 日（日）～ 7 月 13 日（日）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）

3. 開館日数 49 日

4. 入館者数 5,286 人

5. 展示目録

No.	資料名	時代	作者名（敬称略）/備考
1 章 昭和時代の幕開け			
1	書経	江戸時代	
2	錦帯橋絵葉書	昭和 3 年（1928）～ 昭和 7 年（1932）	
3	岩国町役場の写真	昭和 2 年（1927）～ 昭和 15 年（1940）	
参考 1	大日本職業別明細図（岩国町）（部分）	昭和 11 年（1936）	
4	燈籠流し図	昭和 10 年（1935）頃	亀尾天岳
5	西岩国駅前写真	昭和時代初期	
参考 2	現在の西岩国駅	令和 7 年（2025）撮影	
6	旧本郷村の風景	昭和時代初期	
参考 3	現在の本郷町本町	令和 7 年（2025）撮影	
7	田島直人選手写真	昭和 11 年（1936）	岩国学校教育資料館
8	オリンピックメダル（レプリカ）	昭和 11 年（1936）	岩国学校教育資料館
9	静物（青い布）	昭和 11 年（1936）	河上左京
参考 4	自画像（河上左京）	大正時代前期	河上左京
10	少女十二ヵ月双六	昭和時代初期	岩国学校教育資料館
2 章 戦時下の岩国と復興			
11	配給切符	昭和 19 年（1944）	美和歴史民俗資料館
12	防火弾	昭和時代初期（戦時中）	



13	徴古館建設当時の写真	昭和 19 年（1944）	
14	錦帯橋流出の写真	昭和 25 年（1950）	
<u>15</u>	錦帯橋再建工事の写真	昭和 27 年（1952）	
<u>16</u>	犬の登録と注射の写真	昭和 27 年（1952）	
3 章 高度経済成長期と岩国			
17	岩国市制二十周年記念 観光絵葉書	昭和 35 年（1960）	
<u>18</u>	三笠橋竣工式の写真	昭和 35 年（1960）	
<u>19</u>	岩日線河山駅開通の写真	昭和 35 年（1960）	
<u>20</u>	岩国図書館の写真	昭和 36 年（1961）頃	
21	東京オリンピック記念メダル	昭和 39 年（1964）	
参考 5	東京オリンピック記念湯呑み	昭和 15 年（1940）	
<u>22</u>	日本万国博のすべて	昭和 44 年（1969）	岩国学校教育資料館
23	錦帯橋三百歳	昭和 48 年（1973）	徳力富吉郎
4 章 昭和のくらしをのぞいてみよう			
24	「婦人世界」のチラシ	昭和 2 年（1927）	
参考 <u>6</u>	「婦人世界」22 巻 1 号 表紙（部分）、裏表紙	昭和 2 年（1927）	高島華宵大正ロマン館収 蔵近代日本大衆雑誌図録 データベースより転載
25	山高帽子	昭和時代初期	
26	手動ミシン	昭和 11 年（1936）	岩国学校教育資料館
27	モンペと羽織	昭和 18 年（1943）頃	
28	千歯こき	江戸時代中期～ 昭和時代初期	本郷歴史民俗資料館
29	羽釜	江戸時代中期～ 昭和時代初期	由宇歴史民俗資料館
参考 <u>7</u>	おひつ	江戸時代中期～ 昭和時代中期	本郷歴史民俗資料館
昭和のお部屋 再現コーナー			
30	扇風機	昭和 30 年（1955）頃	岩国学校教育資料館
31	水屋筆筒	江戸時代～昭和時代	由宇歴史民俗資料館
32	黒電話	昭和時代中期	美和歴史民俗資料館
33	置時計	昭和 9 年（1934）	美和歴史民俗資料館
34	折り畳み膳	大正時代～昭和時代	由宇歴史民俗資料館
35	鉄瓶	江戸時代～昭和時代初期	由宇歴史民俗資料館
36	小型テレビ	昭和時代中期～後期	由宇歴史民俗資料館
5 章 昭和を翔ける			
<u>37</u>	広中平祐の写真	昭和 51 年（1976）	由宇歴史民俗資料館
39	澤瀉海岸	昭和 53 年（1978）以降	
39	岩国郷土カルタ	昭和 55 年（1980）	
40	おはん	昭和 59 年（1984）	宇野千代 岩国学校教育資料館

参考 8	宇野千代の写真	昭和時代～平成時代	
41	書「敬天愛人」	昭和時代後期	

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

担当学芸員による展示解説

日時：①令和7年5月31日（土） 10時～10時30分

②令和7年6月29日（日） 14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計18人



▲展示解説の様子

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 亀尾天尾岳筆「燈籠流し図」 1個 200円

【企画展3】

出版から見る江戸時代

1. 概要

江戸時代に発行された出版物やそれらがもたらした影響を、当館所蔵資料を中心に紹介

(担当学芸員：枝元 咲)

2. 会期

令和7年7月19日（土）～9月28日（日）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）

3. 開館日数 62日

4. 入館者数 4,793人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	版元/備考
第1章 印刷技術の展開			
1	大内版 三重韻	天文8年（1539）頃	大内義隆
2	四書（大学）	明暦元年（1655）	次郎兵衛
3	古今和歌集	文化9年（1812）頃	須原屋伊八
4	源氏物語	江戸時代頃	
5	源氏物語	承応3年（1654）	八尾勘兵衛
第2章 江戸時代の出版事情			
6	国史纂論	弘化3年（1846）頃	明倫館
7	宇都宮遯菴像	江戸時代中期	
8	鼈頭新增 錦繍段詳註	元禄15年（1702）	野田弥兵衛・野田太兵衛
9	日本人物史	寛文12年（1672）	
10	平家物語	万治2年（1659）	大和田九左衛門
11	平家物語	天和2年（1682）	
12	江戸名所図会 三代目坂東彦三郎の鷺坂左内	天保5年（1834）	須原屋茂兵衛ほか
13	東海道名所図会	寛政9年（1797）	小林新兵衛ほか
参考 1	江戸買物独案内	文政7年（1824）	国立公文書館 所蔵
参考 2	三代目坂東彦三郎の鷺坂左内	昭和時代	アダチ版画研究所
14	富士三十六景 東都一石ばし	安政5年（1858）	蔦屋吉蔵
15	絵本和漢薈	嘉永3年（1850）	河内屋喜兵衛ほか
16	絵本江戸土産	嘉永3年（1850）	菊屋幸三郎

参考 3	的中地本問屋	享和2年（1802）	東京都立図書館 所蔵
17	伊曾保物語	万治2年（1659）頃	伊藤三右衛門
18	滑稽道中 宮島みやげ	嘉永4年（1851）	世並屋伊兵衛・井筒屋忠八郎
19	南総里見八犬伝	天保13年（1842）	丁字屋平兵衛
20	古今和歌集	文化9年（1812）頃	須原屋伊八
参考 4	雑留	寛政2年（1790）	国立公文書館 所蔵
21	正史実伝 以呂波文庫	天保7年（1836）	中村屋幸蔵
22	版木	江戸時代	
23	防州岩国錦帯橋図	江戸時代	
24	周防岩国錦帯橋之図	大正4年（1915）	
25	独立遺稿板行の件	享保年間（1716-1735）頃	
26	安政武鑑	安政7年（1860）	須原屋茂兵衛
27	関西陰徳太平記	文政10年（1827）頃	吉野家仁兵衛
第3章 出版文化と人々			
28	四書正文	安政2年（1855）	明倫館
29	経典余師	天明6年（1786）頃	
30	訓蒙図彙	寛文6年（1666）	
31	商売往来	江戸時代中期頃	天満屋安兵衛
32	日帳	安政元年（1854）	
33	柳井種痘日記	万延元年（1860）	
34	栗栖氏蔵書目録	明治23年（1890）	
35	新論	文政8年（1825）頃	
36	新論	江戸時代後期	
37	国本論	江戸時代後期	
38	万宝百人一首	江戸時代中期頃	柏屋■■■
39	浜の真砂	元文年間（1736-1741）	西村源六
40	淀川・大坂・堺大火細見	慶応4年（1868）	
41	岩邑年代記	江戸時代後期	
42	泰平中国御固附	元治元年（1864）	
43	大日本国名橋見立相撲	江戸時代後期～ 明治時代初期	
44	御定宿引札	江戸時代後期	
45	六十余州名所図会 周防岩国錦帯橋	嘉永6年（1853）頃	越村屋平助
46	周防岩国錦帯橋図並巖島遠望	江戸時代後期頃	橘屋和兵衛
47	白縫八景之内 錦袋橋夕照	文久元年（1861）	広岡屋幸助
48	英雄百人一首	嘉永元年（1848）	山口屋藤兵衛
49	唐詩選	江戸時代後期頃	嵩山房（小林新兵衛）

第4章 出版と時代の移り変わり			
50	東京自慢日本橋御高札場之図	明治3年（1870）	万屋孫兵衛
51	世界国尽	明治2年（1869）	慶應義塾
52	山口県巨豪商早見便覧	明治19年（1886）	川崎利吉
53	周防玖珂郡地誌略	明治14年（1881）	米谷判蔵
54	国史臆議	明治14年（1881）	米谷判蔵
55	東京日日新聞 第4134号	明治18年（1885）	東京日日新聞
56	東海道中膝栗毛	明治18年（1885）	石原干城
57	西洋道中膝栗毛	明治3年（1870）	万笈閣（梶屋喜兵衛）
58	西洋道中膝栗毛	明治18年（1885）	嵯峨野増太郎

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

（1）担当学芸員による展示解説

日時：①令和7年8月 3日（日）10時～10時30分

②令和7年9月13日（土）14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計23人

（2）展示関連イベント「和綴じノート制作体験」

日時：令和7年8月30日（土）10時～12時00分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：9人

（3）展示関連イベント「江戸時代の本を読む～初めてのくずし字～」

日時：令和7年9月13日（土）10時～11時30分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：4人



▲和綴じノート制作体験、説明の様子

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 三代歌川豊国筆「白縫八景之内 錦袋橋夕照」 1個 200円

【企画展4】

岩国市・鳥取市姉妹都市提携 30 周年記念
吉川広家没後 400 年
吉川広家・経家の生きた時代

1. 概要

節目の年を迎える吉川広家・経家の 2 人について、関係する資料とともに紹介
(担当学芸員：松岡 智訓)

2. 会期

令和 7 年 10 月 5 日（日）～12 月 14 日（日）
ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）

3. 開館日数 61 日

4. 入館者数 8,005 人

5. 展示目録

No.	資料名	時代	作者名（敬称略）/備考
吉川経家			
1 毛利氏と織田氏の対立			
1	吉川元春・同元長連署状 秀吉出陣図	天正 7 年（1579） 12 月 18 日	
2	秀吉出陣図	大正 14 年（1925）	柏原美術館 所蔵
3	宇喜多直家書状	天正 8 年（1580） 1 月 20 日	個人蔵 寄託
2 吉川経家の鳥取城入城			
4	藩中諸家古文書纂十	江戸時代	
5	陰徳記	江戸時代前期	
参考 1	吉川経家画像	平成時代	鳥取市歴史博物館 所蔵
6	吉川経家公銅像完成記念写真	平成 5 年（1993）	
7	吉川元長肖像	16 世紀後半	個人蔵
8	御家中系図 モ	江戸時代後期	
3 鳥取城の攻防			
9	陰徳太平記	文政 10 年（1827）補刻	
10	藩中諸家古文書纂四	江戸時代	
参考 2	羽柴秀吉鳥取城攻布陣図	江戸時代後期	鳥取市歴史博物館 所蔵
11	藩中諸家古文書纂十	江戸時代	
4 落城			



12	絵本太閤記	寛政9年(1797)	
<u>参考</u> <u>3</u>	吉川経家自筆書状	天正9年(1581) 10月25日	吉川史料館 所蔵
13	藩中諸家古文書纂十五	江戸時代	
14	尼子家分限牒(写)	江戸時代後期	
15	太閤様御判物	年代不明 9月11日	
16	山田家古文書	江戸時代	
17	吉川家中并寺社文書四	江戸時代	
18	吉川家中并寺社文書五	江戸時代	
19	吉川元春書状	年代不明(天正9年力) 10月18日	
20	御家中系図 御家老・中老	安政3年(1856)	
21	御家中系図 ナ	江戸時代後期	
22	陪卒より御引上ケ中士下等下士上下準格被 仰付候族系図	明治3年(1870)	
23	陪卒より御引上ケ中士下等下士上下準格被 仰付候族系図	明治3年(1870)	
24	日本人物史	寛文9年(1669)	
25	続英雄百人一首	嘉永2年(1849)	
5 姉妹都市			
26	伝吉川経家所用兜	時代不明	吉香神社 所蔵 寄託
27	伝吉川経家所用采配	時代不明	吉香神社 所蔵 寄託
<u>参考</u> <u>4</u>	鳥取城周辺写真	明治時代	鳥取市歴史博物館 所蔵
吉川広家			
1 広家誕生～関ヶ原の戦いまで			
28	吉川家御系図	江戸時代後期	
29	吉川広家加冠状	天正16年(1588) 11月5日	
30	豊臣秀吉朱印状	年代不明(天正年間力) 12月27日	個人蔵 寄託
31	吉川広家任官状	天正20年(文禄元年・ 1592)12月26日	
32	吉川広家安堵状	年代不明(文禄2年力) 7月8日	
33	関ヶ原において聞合候覚書絵図等	享保20年(1735)	
34	関ヶ原において聞合候覚書絵図等	享保20年(1735)	
35	小早川吉川内応附井伊・本多誓書		
2 岩国移封後の広家			
36	吉川氏譜	明治時代前期	
37	岩邑年代記一	江戸時代後期	

38	懐旧の連歌	慶長6年（1601）	
39	錦川志	文久2年（1862）	
40	吉川広家公三百年記念行事写真	大正14年（1925）	

※資料番号に下線のあるものは、パネル展示

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

（1）担当学芸員による展示解説

日時：令和7年11月22日（土）10時～10時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：11人

（2）関連講座（郷土史研究会として開催）

演題：「吉川経家の葛藤～関ヶ原の戦い編～」

講師：田中 洋一氏（元下関市立歴史博物館学芸員）

日時：令和7年10月19日（日）10時～11時30分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：66人

（3）関連講座（郷土史研究会として開催）

演題：「吉川経家と天正9年鳥取城攻め」

講師：石井 伸宏氏（鳥取市歴史博物館学芸員）

日時：令和7年11月22日（土）10時～11時30分

場所：サンライフ岩国 大会議室

参加者：52人



▲パンフレット『吉川経家と鳥取城の攻防』

7. 刊行物 岩国人物伝 Vol. 5 『吉川経家伝』 1冊 200円

岩国人物伝 Vol. 6 『吉川広家伝』 1冊 200円

パンフレット『吉川経家と鳥取城の攻防』を来館者へ先着配布（約2,000部）



▲花押スタンプ 吉川経家（左） 吉川広家（右）

【企画展 5】

先人たちの手紙

1. 概要

室町時代から昭和時代初めにかけてしたためられた手紙を紹介（担当学芸員：濱保 仁志）

2. 会期

令和7年12月21日（日）

～令和8年3月1日（日）

ただし、月曜日休館（祝日の場合は、次の平日）

3. 開館日数 56日

4. 入館者数 4,690人

5. 展示目録



No.	資料名	時代	備考
第1章 中世の手紙			
1	足利義満御判御教書	至徳3年（1386）	
2	伊勢守尊応准后書状	室町時代後期	
3	吉川元春書状	室町時代末期	
4	大内義隆感状	天文10年（1541）	
5	今田上野介宛吉川元長書状	天正6年（1578）	
6	吉川元春・同元長連署書状	天正11年（1583）頃	
7	吉川広家禁制	天正16年（1588）	
8	久利三河守宛吉川広家書状	天正19年（1591）	
9	佐伯太郎左衛門宛吉川広家安堵状	文禄2年（1593）	
第2章 近世の手紙			
10	東新右衛門宛吉川如兼書状	元和8年（1622）頃	
11	宇都宮木工之允宛吉川如兼書状	江戸時代前期	
12	吉川広嘉宛鷲尾隆光書状	寛文3年（1663）	
13	毛利就頼書状	万治元年（1658）頃	
14	豊後日出往返	安政6年（1859） ～明治2年（1869）	
15	東三郎兵衛宛職役印判状	享保18年（1733）	
16	居宅建替二付達書	安政元年（1854）	
17	御断申上候覚	明治元年（1868）	
2-1 殿様の手紙			
18	東新右衛門宛吉川如兼書状	江戸時代初期	
19	東新右衛門宛吉川広正書状	江戸時代前期	
20	今田甚右衛門外六名宛吉川広嘉書状	延宝5年（1677）	

21	今田甚右衛門外六名宛吉川広猶書状	延宝 5 年 (1677)	
22	今田助之進宛吉川広達書状	宝永 3 年 (1706)	
23	今田采女外七名宛吉川経永書状	延享 3 年 (1746)	
24	今田出衛宛吉川経倫書状	明和 3 年 (1766)	
25	佐野栄三郎宛吉川経忠書状	寛政 7 年 (1795)	
26	今田甚兵衛外七名宛吉川経賢書状	文化 3 年 (1806)	
27	香川吉太夫宛吉川経礼書状	文政 10 年 (1827)	
28	今田藤兵衛宛吉川経章書状	天保 10 年 (1839)	
29	東蕃蔵宛吉川経幹書状	嘉永 2 年 (1849)	
2-2 幕末維新期の手紙			
30	境省太郎書状	文久 2 年 (1862)	
31	有福新輔宛長新兵衛外二名書状	明治元年 (1868)	
32	宮庄主水外五名宛有福新輔書状	明治元年 (1868)	
33	坂上七郎宛玉乃東平書状	慶応 2 年 (1866)	
34	佐伯清太郎宛境務書状	明治 3 年 (1870)	
35	安田源兵衛宛境務書状	明治 3 年 (1870)	
第 3 章 近代の手紙			
36	吉川経健宛毛利元徳書簡	明治時代初期	
37	吉川経健宛順正院書簡	明治時代前期	
38	下連城宛柏村信書簡	明治 21 年 (1888) 頃	
39	宇都宮石叟宛今北洪川書簡	明治 7 年 (1874)	
40	沖原光孚宛吉川経健	明治 28 年 (1895)	
41	熊谷氏宛江木翼書簡	明治時代後期	
42	都志見信子宛長谷川好道書簡	大正 8 年 (1919)	
43	沖原光孚宛田中稲城書簡	明治時代後期	
44	都志見信子宛長谷川辰子書簡	大正 8 年 (1919) 頃	
45	東敬治宛渋沢栄一書簡	昭和 3 年 (1928)	

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵

6. 関連行事について

担当学芸員による展示解説

日時：①令和 8 年 1 月 17 日 (土) 10 時～10 時 30 分

②令和 8 年 2 月 22 日 (日) 14 時～14 時 30 分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：計 18 人

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「吉川広家花押」 1 個 200 円

【企画展 6】

岩国徴古館新収蔵資料展 2026

1. 概要

令和 6 ～ 7 年度に新たに収蔵した資料を中心に紹介

2. 会期

令和 8 年 3 月 8 日（日）

～令和 8 年 5 月 10 日（日）

ただし、月曜日（祝日の場合は、その次の平日）



3. 開館日数 20 日（ただし、令和 8 年 3 月 8 日から 3 月 31 日まで）

4. 入館者数 3,210 人（ただし、令和 8 年 3 月 8 日から 3 月 31 日まで）

5. 展示目録

No.	資料名	時代	作者名/備考
錦帯橋に関する資料			
1	大日本国名橋見立相撲	江戸時代末期頃	令和 5 年度寄贈
2	大日本御免不同橋尽	江戸時代末期頃	令和 5 年度寄贈
3	日本大橋尽し	江戸時代末期頃	令和 5 年度寄贈
4	浮絵防州岩国錦帯橋之図	江戸時代後期	令和 5 年度寄贈
5	白縫八景之内 錦袋橋夕照	文久元年（1861）	三代歌川豊国 令和 5 年度寄贈
6	錦帯橋図賛	昭和 18 年（1943）	森脇錦厓（英雄） 令和 7 年度寄贈
7	扇子（錦帯橋）	昭和 54 年（1979）	中田光紀 令和 6 年度寄贈
8	錦帯橋	昭和時代	池田遙邨 令和 6 年度寄贈
9	錦帯橋写真	昭和 44 年（1969）	鍛冶利吉 令和 6 年度寄贈
10	錦帯橋創建三百年記念 錦帯橋三百歳	昭和 48 年（1973）	徳力富吉郎 令和 6 年度寄贈
11	錦帯橋の昭和の再建工事写真アルバム	昭和 25 年（1950）～昭和 28 年（1953）	令和 5 年度移管
12	錦帯橋災害旧工事関係書類綴	昭和 26 年（1951）	令和 5 年度移管
13	記録映画『錦帯橋』	昭和 28 年（1953）	令和 5 年度移管
14	錦帯橋架替記念表札	平成 16 年（2004）	令和 5 年度移管
15	平成の架替記念皆折釘	平成 16 年（2004）	令和 5 年度移管
16	平成の架替記念枅	平成 16 年（2004）頃	令和 5 年度移管

郷土の歴史に関する資料			
17	書〔夜深雲翳尽〕 〈前期〉	明治8年（1875）	東沢瀉 令和6年度寄贈
	七言詩 〈後期〉	明暦2年（1656）	独立性易 令和6年度寄贈
18	差札	明治時代初期頃	令和6年度寄贈
19	平田囃田写真	昭和45年（1970）頃	令和7年度寄贈
20	四五式軍帽	大正時代～昭和時代初期頃	令和7年度寄贈
21	銘酒灘鶴酒造甕	昭和時代	令和7年度寄贈
22	懸魚・降り懸魚（錦見若宮神社）	大正4年（1915）	中沢千嘉治 令和6年度寄贈
23	懸魚・降り懸魚（錦座）	大正13年（1924）	中沢千嘉治 令和6年度寄贈
24	太閤様御前ニテ御肴	天正13年（1585）	令和5年度寄贈
25	一庵拝領物書附	年代不明（天正年間力）	令和5年度寄贈
26	吉川経言書状	天正15年（1587） 6月6日	令和5年度寄贈
27	吉川広家書状	慶長5年（1600）9月12日	令和5年度寄贈
28	吉川広家起請文	慶長11年（1606） 11月22日	令和5年度寄贈
29	小笠原流馬道免状	天保8年（1837）	令和6年度寄贈
30	新原家系図	明治時代	令和6年度寄贈
31	岩邑年代記	江戸時代	令和7年度寄贈
32	小瀬川合戦図	慶応2年（1866）	令和6年度購入
33	周防大島郡大合戦	慶応2年（1866）	令和6年度購入
34	夜討合戦	慶応2年（1866）	令和7年度購入
35	九州小倉合戦図	慶応2年（1866）	令和6年度購入
36	岩国名勝写真帖	大正14年（1925）	令和7年度寄贈
37	旧制岩国中学校 第38回卒業記念写真帖	昭和14年（1939）	令和7年度寄贈
38	大阪万博（EXPO'70）記念メダル	昭和45年（1970）	令和7年度寄贈
39	大日本職業別明細図 山口県	昭和14年（1939）	令和7年度購入
郷土の美術工芸			
40	梅に鶯	江戸時代末期～明治時代頃か	渡辺小華 令和6年度寄贈
41	短刀 【岩国市指定有形文化財】	鎌倉時代末期頃	二王清綱 令和7年度寄贈
42	大太刀	嘉永6年（1853）	青龍軒盛俊 令和7年度寄贈
43	菅原道真公図 〈前期〉	時代不明	亀尾天岳 令和7年度寄贈
	松鷹図 〈後期〉	江戸時代中期	内田溪鷗子 令和7年度寄贈

44	歳寒三友図 〈前期〉	時代不明	津本柳塘 令和7年度寄贈
	燕子花図 〈後期〉	江戸時代後期頃	内田耕月 令和7年度寄贈
45	雛図 〈前期〉	時代不明	須子竹窓 令和7年度寄贈
	五瑞之図 〈後期〉	明治38年(1905)	須子竹窓 令和7年度寄贈
46	花卉図 〈前期〉	大正4年(1915)	須子竹窓 令和7年度寄贈
	書〔一行〕 〈後期〉	江戸時代前期	吉川広紀 令和7年度寄贈

※前期：令和8年3月8日（日）～3月31日（火）

後期：令和8年4月1日（水）～5月10日（日）

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館所蔵

6. 関連行事

（1）担当学芸員による展示解説

日時：①令和8年3月21日（土） 10時～10時30分

②令和8年4月26日（日） 14時～14時30分

場所：岩国徴古館 第一展示室

参加者：12人（3月21日分のみ）

7. 刊行物 企画展記念缶バッジ 「太閤様御前ニテ御肴」 1個 200円



▲展示解説の様子

(3) 特集ミニ展示

会場：第二展示室

特集ミニ展示一覧

令和7年4月1日～令和8年3月31日までに実施した特集ミニ展示は、次のとおり。

展示名		会期
1	岩国と鉄道	令和7年7月19日（土）～9月28日（日）

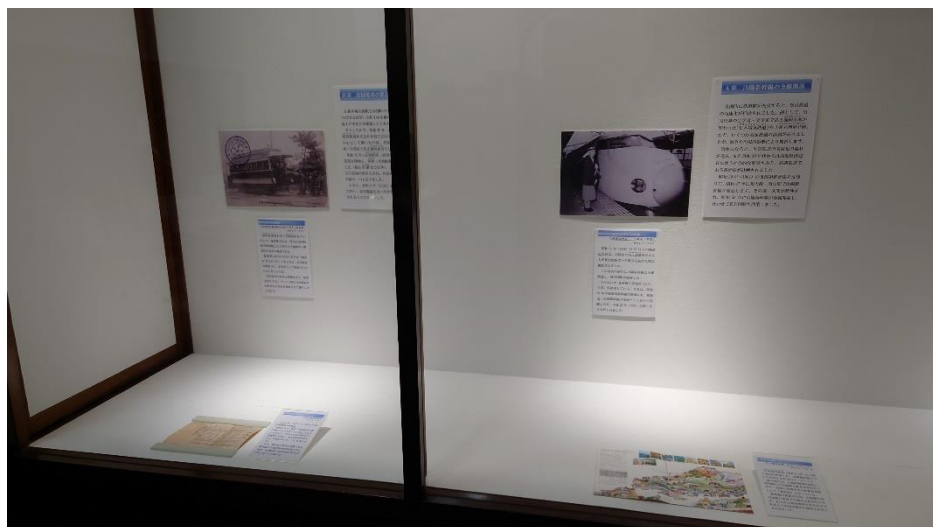
1. 概要

山陽鉄道岩国駅の開業から始まる岩国と鉄道の関わりについて紹介

2. 展示目録

No.	資料名	時代	備考
1	御触出控 四	明治5年（1872）～ 明治7年（1874）	
2	蒸気車鉄道之由来	明治7年（1874）	
3	明治時代の岩国駅（写真）	明治時代中期～ 後期頃	
4	山陽鉄道の機関車（写真）	年代不明	
5	興風時報	昭和4年（1929）	
6	西岩国駅と機関車（写真）	年代不明	
7	陰陽連絡軽便鉄道敷設に関する書類	大正元年（1912）	
8	岩日線河山・錦町開通式一件	昭和38年（1963）	
9	山陽新幹線 PRのしおり〈1〉	昭和44年（1969）頃	
10	鉄道記念日 一日駅長（写真）	昭和51年（1976）	
11	岩国電気軌道株式会社の電車（絵葉書）	明治42年（1909）	
12	岩国電車時間表	大正6年（1917）	

※備考欄に表記のない資料は、すべて岩国徴古館蔵



▲展示の様子

2. 教育普及事業

(1) 郷土史研究会

月に1回、当館学芸員または市内外の郷土史家や歴史研究者を講師とし、岩国に関する地方史の研究会を実施。昭和42年(1967)から始まり、現在に至る。聴講は無料・要事前申込。

令和7年度郷土史研究会

開催回	開催日	テーマ・講師	聴講者数
第686回	4月20日	写真で見る山代～『錦町史民俗編』のころ～(その5) 山代の蛇(ジャ)と梅雨左衛門 講師:金谷 匡人 氏(元山口県文書館副館長)	31
第687回	5月18日	高森城と山代侵攻ー防長経略の緒戦ー 講師:濱保 仁志(岩国徴古館学芸員)	41
第688回	6月15日	吉川広家ー家督前ー 講師:原田 史子 氏(吉川史料館主任学芸員)	51
第689回	7月20日	ドローンで攻める岩国城と吉川・毛利の城 講師:秋本 哲治 氏(安芸高田市歴史民俗博物館副館長) 堀切 凡夫 氏(城郭映像クリエイター)	44
第690回	8月17日	歴史の街道をゆく・旅 ー山代街道(秋掛)に関する古墓・名所・旧跡を訪ねてー 講師:友定 英章 氏(元中央公民館 小瀬分館長)	40
第691回	9月21日	豊臣期吉川氏の普請ー文献史料にみる米子城普請ー 講師:水野 椋太 氏(松江市松江城・史料調査課文化財副主任)	39
第692回	10月19日	吉川広家の葛藤ー関ヶ原の戦い編ー 講師:田中 洋一 氏(元下関市立歴史博物館学芸員)	66
第693回	11月16日	吉川経家と天正9年鳥取城攻め 講師:石井 伸宏 氏(鳥取市歴史博物館学芸員)	52
第694回	12月21日	藤岡と電気鉄道 講師:下麥 誠一郎 氏(郷土史家)	44
第695回	1月18日	芸州口の戦いにおける岩国領の動向 講師:松岡 智訓(岩国徴古館学芸員)	57
第696回	2月15日	吉川家からみる天正13年四国攻めについて 講師:小笠原 美里 氏(吉川史料館学芸員)	50
第697回	3月15日	玖珂地域の陸上交通路についてー古代～近世までの概要ー 講師:杉 修介 氏(郷土史家)	47
合計(人)			562

(2) 古文書講座

月に1回、当館学芸員を講師とし、当館所蔵の古文書をテキストに読み方や読解力を身に付ける講座を開催。初めて古文書に触れる方を対象とした「基礎講座」と基礎事項を復習しながら古文書を実践的に読み進める「初級講座」に分かれ、受講者のレベルに合わせた講座進行で実施。テキスト代（半期）500円・要事前申込。

令和7年度の古文書講座

	開催月												合計 (人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎講座	22	25	21	26	20	21	25	23	19	21	24	21	268
初級講座	29	31	30	26	24	28	26	26	27	27	30	27	331
合計	51	56	51	52	44	49	51	49	46	48	54	48	599

(3) 博学連携

学校と博物館が相互理解・協力し、未来を担う子供たちに郷土の歴史等に関心を持ってもらうために、出前講座や体験教室、館内利用などを積極的に実施するもの。博物館においては施設や資料の周知、積極的な活用にもつながる。

29

① 学校行事（社会見学・職場体験・体験・町歩き）

小学校	12件	517人
中学校	5件	50人（教育センター含む）
高等学校	2件	26人
その他（教育委員会美和支所）	1件	20人

② 出前授業

小学校	11件	601人
中学校	1件	17人
専門学校	1件	29人

（内容）

・ 岩国市について	・ 江戸時代の錦見地区の七町について
・ 岩国の史跡めぐり	・ 愛宕地区・展示解説
・ 城下町・錦帯橋	・ 岩国電車と藤岡市助
・ 町歩き（横山）	・ 和綴じ本製作
・ 周防大島の歴史	・ 鋳造体験
・ 東沢瀉ら三士について	・ 開作と由西について
	ほか

③ 学校教諭・教員の研修

小学校・中学校	4件		
教員のための博物館の日2025	岩国の歴史探求編	8月4日（月）	6人
教員のための博物館の日2025	体験学習（歴史）編	8月7日（木）	2人
教員のための博物館の日2025	体験学習（図工・美術）編	8月8日（金）	4人

④ 博物館実習生の受け入れ 1人

期間：令和7年8月27日（水）～9月5日（金）※土・日・月曜日を除く全7日間

実習展示場所：中2階展示室

テーマ：「いつの時代も鳥を飼う」

⑤ インターンシップ・職場体験の受け入れ

中学生 1人

⑥ 岩国徴古館主催体験行事（企画展連動講座を含む）

- ・ 和綴じ体験 2回 20人
- ・ 甲冑体験 6回 8人
- ・ 鋳造体験 3回 31人
- ・ 掛軸体験 1回 4人
- ・ 和紙はがき体験 1回 3人
- ・ 入門古文書講座 1回 4人
- ・ 浮世絵スタンプ体験 1回 3人
- ・ 子ども古文書講座 1回 1人
- ・ 錦帯橋芸術文化祭2025ミュージアムスタンプラリー

11月8日（土）～11月24日（月・祝）

186個（景品交換数）

- ・ 浮世絵スタンプ体験（錦帯橋芸術祭2025） 11月9（土）・10日（日） 約440枚

（4）その他

① 毛利氏関連博物館等施設連携事業

- ・ 毛利輝元・吉川広家没後400年記念事業「謎解き歴史ラリー」実施

内容：毛利氏関連の博物館等施設の回遊性を高めるため、各施設や関連史跡を活用した謎解き歴史ラリーを実施した。

期間：令和7年10月31日（金）～令和8年1月31日（金）

記念品配布数：26個（記念枰）

② 怪談話を活用したプロモーション事業

- ・ プロジェクションマッピングや音響等の視聴覚で体感できる出張展示「岩国の怪談」パッケージ制作を行い、出張展示「学校の怪談」（岩国地区）、「由宇の怪談」由宇地区で出張展示を実施。

YOKAI紙芝居・YOKAIうちわを製作。うちわ（1,000本）はイベント景品として配布。

○出張展示「学校の怪談」

期間：令和7年7月29日（火）～9月21日（日）

場所：岩国学校教育資料館

入場者数：826人



▲YOKAIうちわ

・関連イベント

(1) 昔の授業を体験してみよう！

内容：昔の教科書や石盤などを使った国語や算数、体操の授業を体験する。

YOKAI 紙芝居の朗読会を行い、岩国に伝わる怪談を学ぶ。

日時：令和7年8月2日（土）①10時～11時 ②14時～15時

場所：岩国学校教育資料館 1階常設展示室

参加者：計5人



▲昔の授業を体験してみよう！の様子

(2) みんなで火の玉提灯を作ろう!!

内容：「岩邑怪談録」に登場する火の玉を手作りする。

日時：令和7年8月2日（土）、9日（土）、23日（土）、30日（土）

各日とも15時～17時

場所：岩国学校教育資料館 1階常設展示室

参加費：無料

協力：岩国物の怪地図研究会

参加者：計145人

※「みんなで火の玉提灯を作ろう!!」については、申込不要のため参加人数の記録なし。

○出張展示「由宇の怪談」

期間：令和7年10月31日（金）から12月3日（水）

場所：由宇歴史民俗資料館

入場者数：約200人

・関連イベント

(1) 「由宇の怪談を読む」

内容：「岩邑怪談録」や岩国で作られた地誌などに伝わる由宇の怪談を紹介するとともに、由宇の歴史・風土についても概観する。

日時：令和7年11月11日（火）13時30分～15時

場所：由宇文化会館 3階講堂

参加費：無料

参加者：計31人

（2）「YOKAI 紙芝居朗読会」

内容：「岩邑怪談録」や岩国で作られた地誌などに伝わる由宇の怪談を紹介するとともに、
由宇の歴史・風土についても概観する。

日時：①令和7年11月22日（土）10時～10時30分

②令和7年11月30日（日）14時～14時30分

場所：由宇歴史民俗資料館 2階研修室

参加費：要入館料（大人・高校生100円、小・中学生50円）

参加者：計39人

③ 学芸員派遣講座等 8件

- | | | |
|----------------|--------------|----|
| ・ 岩国吉川会 | ・ 古市公民館（広島市） | |
| ・ 通津郷友会 | ・ 岩国ロータリークラブ | |
| ・ 岩国中央ロータリークラブ | ・ 全国稲荷会 | ほか |

④ お城 EXP02025

- ・「岩国城～吉川広家公没後400年～」というブースで観光振興課とともに出展し、
お城 EXP02025 限定の岩国城御城印（200部）を作成・販売した。

期間：令和7年12月20日（土）、21日（日）

場所：パシフィコ横浜

○サロントーク「吉川広家と岩国城」

内容：没後400年の節目を迎える築城者・吉川広家の生涯とともに
関ヶ原の戦いの後、時代の変わり目にあえて山上に築かれた
岩国城の歴史を紹介する。

日時：令和7年12月20日（土）15時30分～16時

参加者：計60人



▲お城 EXP02025 限定 岩国城御城印

3. 調査研究事業

（1）研修会・講演会

- ・令和7年度古文書保存基礎講座（5月22日～23日） 受講
主催：福岡県教育委員会、筑紫野市歴史博物館、九州国立博物館
- ・令和7年度ミュージアム・パブリックリレーションズ研修（2月17日～20日） 受講
主催：文化庁

4. 資料収集・管理・利用・保存

(1) 資料収集（寄贈・寄託・購入・移管）

資料の収集において、岩国市博物館収蔵資料審査会規定により実施。

① 寄贈資料

No.	名称	点数	備考
1	短刀（銘：周防国周防国杉森住二王清綱）	1	岩国市指定文化財
2	平田囃田写真	1	5枚
3	太刀（銘：青龍子盛俊）	1	
4	年代記（市木本）	1	
5	〔椿勘左衛門宛天野兵助書簡〕	1	
6	香川琴山〔歌「妹かへに」〕	1	
7	塩谷處〔書「花向口昏」〕	1	
8	柳塘《梅図》	1	
9	平佐蕉雨〔書「卷中未有好」〕	1	
10	箕山〔書「陳松清沙一経静」〕	1	
11	東正堂〔葡萄図賛〕	1	
12	河野醉石《竹林山水図》	1	
13	〔書「論居苦節」〕	1	
14	藤田葆〔書「雲口難口入」〕	1	
15	斎藤李節《鶴図》	1	
16	臥天仙史か〔書「亭臥悠々」〕	1	
17	〔品川弥次郎書付〕	1	
18	〔山水図〕	1	
19	塩谷處か〔書「歳立之難」〕	1	
20	塩谷處〔書「霞落之易」〕	1	
21	河野絲白斎《鶴図》	1	
22	南陵〔山水図〕	1	
23	小川清處〔麦画賛〕	1	
24	藤田葆〔花卉図賛〕	1	
25	藤田葆〔竹図賛〕	1	
26	平佐蕉雨〔書「口駕欲何向」〕	1	
27	河野醉《山水図》	1	
28	木図・平佐蕉雨〔鶴図賛〕	1	
29	〔複製・和漢朗詠集〕	1	
30	東沢瀉〔書「軽石老根黒」〕	1	
31	武田揚岸《宝船図賛》	1	
32	岸信介〔書「疎松清沙一」〕	1	
33	永田新之允〔書「花落江南酒」〕	1	
34	武田揚岸《花鳥図》	1	
35	今上天皇大嘗祭絵巻 完	1	御即位記念協会
36	今上天皇御即位礼絵巻 完	1	御即位記念協会

37	小川清處〔山水図賛〕	1	
38	内田虚白斎〔鷹図〕	1	
39	岸龍山〔月下草庵図〕	1	
40	下器〔書「九卷鶏啼曉」〕	1	
41	東沢瀉〔山水図賛〕	1	
42	熊谷直好〔書「古学好めたる人」〕	1	
43	小川清處〔亀図賛〕	1	
44	河野醉石《雪景》	1	
45	西園寺公御染筆拝領之来由	1	
46	高島北海《山水画》	1	
47	平佐蕉雨〔書「天地酒杯中」〕	1	
48	平佐蕉雨〔書「海屋風清朝」〕	1	
49	東沢瀉《蘭画賛》	1	
50	河野醉石〔山水図〕	1	
51	内田耕月斎〔鶴に牡丹図〕	1	
52	岩国案内明細地図 縮尺六千分一之	1	
53	東沢瀉〔書「松影交竹影」〕	1	
54	河野醉石〔鶏図〕	1	
55	朝倉南陵〔鶴亀図〕	1	
56	玉乃世履〔書「処事須為余」〕	1	
57	〔三条実美・玉乃世履書簡軸装〕	1	
58	岸龍山《雨中山水之図》	1	
59	桑原幽宅〔寿老人図〕	1	
60	須子竹窓〔鶴図〕	1	
61	曾根荒助〔書「天道恢々崔」〕	1	
62	須子竹窓〔天神図〕	1	
63	武田楊岸《大国神図》	1	
64	東沢瀉〔書「乾坤共一家」〕	1	
65	平佐蕉雨〔書「登々山路河」〕	1	
66	河野醉石〔山水図〕	1	
67	二宮錦水〔書「□舞千年樹」〕	1	
68	藤本木田〔山水図賛〕	1	
69	藤田葆〔菊・山水色紙〕	1	
70	内田耕月斎《菖蒲図》	1	
71	内田耕月斎〔松に鶴図〕	1	
72	品川弥二郎〔書「賁□所以尽」〕	1	
73	小川清處〔鴨図〕	1	
74	江木千之〔書「泣奪兒刀母」〕	1	
75	江木翼〔書「千葉邑浮江戸湾」〕	1	
76	武田物外〔宝珠図賛〕	1	
77	岸龍山か〔山水図賛〕	1	

78	東沢瀉〔山水図賛〕	1	
79	頼事庵〔書「一徳靈苗異」〕	1	
80	竹野竹宇〔山水梅図〕	1	
81	〔雪城宛書簡〕	1	
82	亀尾天岳〔菅原道真公図〕	1	
83	長三洲〔梅図賛〕	1	
84	岸龍山《富士図》	1	
85	東正堂《竹図賛》	1	
86	春田成斎〔鶴図〕	1	
87	小野閑哉〔菊図〕	1	
88	古的斎〔虎図賛〕	1	
89	岸龍山《雁之図》	1	
90	玉乃世履〔書「入山採藥臨」〕	1	
91	長八海《虎図》	1	
92	内田溪鷗子《鷹図》	1	
93	春田成斎〔鶴図〕	1	
94	〔布施三郎右衛門・牧内蔵書簡〕	1	
95	〔彩色世界地図〕	1	
96	須子竹窓《五瑞之図》	1	
97	香塢〔書「午窓琴韻罷」〕	1	
98	〔書「善万物之得」〕	1	
99	須子竹窓画、河上竹軒賛《桃の節句画賛》	1	
100	須子竹窓画、平佐蕉雨賛〔亀図賛〕	1	
101	須子竹窓〔花鳥図〕	1	
102	杉原鳳尾・平佐蕉雨・須子竹窓・藤田竹癡（葆）・旭山〔五老翁合作寄合書画〕	1	
103	大塚慊三郎〔書「本是松陰箕」〕	1	
104	須子竹窓〔雛図〕	1	
105	塩谷處〔書「除存困難本指南」〕	1	
106	槇尾清〔山水画賛〕	1	
107	河上逸（竹軒）〔書「浴帛当年□作」〕	1	
108	吉川広紀〔書「一行」〕	1	
109	内田耕月〔尉と姥図〕	1	
110	伊藤若冲〔鶏図〕	1	
111	須子竹窓〔日出松鶴図〕	1	
112	塩谷處〔書「重々深祭四時」〕	1	
113	下海門（連城）〔書「非官非賈独」〕	1	
114	頼山陽〔書「蝶婦厨中蔵」〕	1	
115	平佐蕉雨・藤田竹癡（葆）・須子竹窓 〔三老合作寄合書画〕	1	
116	須子竹窓画、平佐蕉雨賛〔鶴図賛〕	1	

117	河上逸（竹軒）〔書「平生妙枝在丹青」〕	1	
118	須子竹窓画、平佐蕉雨賛〔鶴図賛〕	1	
119	須子竹窓〔草花図〕	1	
120	王治本〔書「成竹在胸落」〕	1	
121	谷文晁〔亀図〕	1	
122	旧制岩国中学校 第 38 回卒業記念写真帖	1	
123	1970 年大阪万博記念メダル	1	銅
124	森脇錦厓（英雄）《錦帯橋図賛》	1	
125	佐藤栄作 書「味無味」	1	
126	山口県学事関係職員録（昭和 3 年）	1	山口県教育会
127	山口県学事関係職員録（昭和 6 年）	1	山口県教育会
128	山口県学事関係職員録（昭和 13 年）	1	山口県教育会
129	吉田泉作 岩国案内記（四版）	1	
130	錦帯橋の由来及び其構造	1	財団法人岩国保勝会
131	岩国名所神風五龍の松	1	財団法人岩国保勝会
132	岩国（リーフレット）	1	岩国観光協会
133	錦帯橋絵葉書	1	8 枚 財団法人岩国保勝会
134	まりふ史績名勝絵葉書	1	5 枚
135	（絵葉書）錦帯橋の岩国	1	3 枚 岩国市
136	（絵葉書）岩国	1	8 枚 岩国市観光協会
137	岩国名勝写真帖	1	岩国町役場
138	河山鉦山関係写真	1	5 枚
139	商法計算金額出納高改帳（明治 4～38 年）	1	
140	独立筆「七言詩」	1	
141	〔今田家伝来の矢 伝頼政公使用〕	1	5 本
142	〔今田主鈴宛相伝書〕	1	
143	〔今田主鈴宛槍術相伝書〕	1	
144	〔今田主鈴宛剣術相伝書〕	1	
145	押前制法巻・司卒両令巻	1	
146	七足変唄切紙	1	
147	免状	1	
148	居合兵法歌之書	1	
149	秘書	1	
150	〔今田家軍用覚書・今田家火消道具覚書〕	1	3 点
151	〔家老存知覚書〕	1	3 点
152	集詠曲本	1	
153	乗馬秘伝書	1	
154	武門要鑑	1	

155	甲陽軍鑑	1	4 点
156	今田家先靈年忌考 全	1	3 点
157	要門免許状	1	3 点
158	〔菩提寺・氏神に関する書付〕	1	
159	〔天叟寺・普濟寺墓地位置図〕	1	
160	〔大江家系図〕	1	2 点
161	御書写	1	
162	吉川之御系図	1	
163	〔戒名一覧〕	1	
164	〔戒名・命日一覧〕	1	
165	〔没年一覧〕	1	
166	馬抄	1	2 点
167	〔八条流馬術伝書〕	1	
168	〔過去帳〕	1	
169	御墨判	1	
170	墓地証	1	5 点
171	御系図並家系	1	
172	〔吉川家系図〕	1	2 点
173	〔系図等覚書〕	1	2 点
174	連職御箇条写	1	
175	今田家定紋ノ由来	1	2 点
176	具足飴	1	
177	司卒両令卷	1	5 点
178	兵法序目	1	2 卷
179	兵法伝授許	1	
180	片山流剣術目録	1	3 卷
181-0	木箱	1	11 点
181-1	太閤様御判物	1	3 点
181-2	扇	1	
181-3	〔書簡「我等内存之趣…」〕	1	
181-4	太閤様御前ニテ御肴	1	4 点
181-5	〔儀式図〕	1	
182	本居宣長翁和歌	1	2 本
183	桂園香川翁之肖像	1	2 本
184	〔前今田土佐入道御名芳山永春臨終観念〕	1	2 本
185-1	〔源頼政手蹟〕	1	
185-2	〔極札〕	1	2 点
186	〔黒田長政書簡「其後者絶書音候…」〕	1	
187	〔書簡「御下国被成絶書信候…」〕	1	
188	〔草花図〕	1	
189	〔今田寛詠歌「かねてより…」〕	1	

190	〔束帯人物図〕	1	
191	〔松波資之詠歌「わかるゝそ…」〕	1	
192-0	木箱	1	4点
192-1	今田山県家略譜 乾巻	1	
192-2	今田山県家兵器図説	1	
192-3	今田山県家略譜 坤巻	1	
193	〔空木箱〕	1	
194	〔空木箱〕	1	
195	〔墓石図〕	1	
196	〔葬列図〕	1	
197	〔金式拾円包紙〕	1	
198	魔訶般若波羅蜜多心經	1	
199	〔佐伯岩二書簡〕	1	2点
200	電報送達紙	1	
201	〔吉川元光書簡〕	1	5点
202	〔水落直書簡〕	1	2点
203	秋心院不幸一途控	1	
204	場合着到帳	1	
205	寛裕院殿不幸一途	1	
206	〔参列者名簿〕	1	
207	到来物帳	1	
208	寛裕院殿四十九日供物到来控	1	
209	内悔帳	1	
210	心照院死去内悔帳	1	
211	御悔帳	1	
212	会葬人名簿	1	
213	心照院死去ニ付金錢帳	1	
214	〔記念品進呈名簿〕	1	
215	〔葬列次第図〕	1	
216	〔名簿〕	1	
217	内御悔帳	1	
218	〔法要日程表〕	1	
219	到来物帳	1	
220	心照院死去ニ付到来物控	1	
221	諸控帳	1	
222	秋心院病中并不幸一途計算帳	1	
223	香華料控	1	
224	到来物帳 今田ミツ葬儀一途	1	
225	供物帳	1	
226	秋心院不幸一途為知先	1	
227	悔帳	1	

228	諸買物帳 巻号	1	
229	諸買物帳 式号	1	
230	御玉串料控帳	1	
231	お寺建立の功德	1	
232	家憲	1	
233	家憲附録	1	
234	〔写真〕	1	7 点
235	〔書付短冊〕	1	2 点
236	〔和歌書付〕	1	
237	詠十三首歌	1	
238	〔給与額通知書〕	1	
239	〔和歌推敲書付〕	1	
240	〔詠み人書付〕	1	
241	〔今田純一書簡〕	1	
242	〔和歌「時雨知時」他〕	1	
243	詠草	1	29 点
244	詠草	1	26 点
245	〔今田寛詠歌綴〕	1	
246	文月のまき	1	
247	〔歌「夏山」他〕	1	
248	〔歌「嶺月明」他〕	1	
249	〔歌「杜時鳥」他〕	1	
250	翠山公寿宴歌集	1	
251	〔歌「母君に」他〕	1	
252	〔詠歌等綴〕	1	
253	東上日記	1	
254	〔詠歌等綴〕	1	
255	明治十八年十月点取	1	
256	塵乃吹与勢 第七編	1	
257	第四 塵乃吹よせ	1	2 点
258	第三 塵乃吹よせ	1	9 点
259	第六 塵乃吹よせ	1	6 点
260	〔歌「淡路町なる」他〕	1	
261	〔歌「朝秋風」他〕	1	2 点
262	〔鈴木重嶺書簡〕	1	2 点
263-1	〔千宗尊福書簡〕	1	2 点
263-2	〔歌「秋頃月」他〕	1	
264	〔千胤書簡〕	1	2 点
265-1	〔松波資之書簡〕	1	2 点
265-2	〔歌「朝春雨」他〕	1	
266-1	〔鈴木重嶺書簡〕	1	

266-2	〔名前一覧〕	1	
266-3	〔名前一覧〕	1	
267-1	〔歌「年のはじめを…」〕	1	2 点
267-2	〔萩園書簡〕	1	
268	〔多田親口書簡〕	1	
269	包紙	1	57 点
270	〔古保利薬師パンフレット〕	1	
271	〔横山古地図略図写真〕	1	2 点
272	時事広島	1	2 部
273	〔今田城と居館跡パンフレット〕	1	
274	〔今田経高位牌写真〕	1	
275	〔今田山県家略譜の製本について〕	1	
276	〔資料写真〕	1	10 枚

その他寄贈資料 45 点

② 寄託資料 新規受け入れなし

③ 購入資料

No.	名称	点数	備考
1	山口県・内海沿岸地方大 日本職業別明細図	1	
2	夜討合戦	1	

④ 移管資料 新規受け入れなし

(2) 資料管理

岩国徴古館収蔵品管理システム (I. B. MUSEUM SaaS) によるクラウド管理

【インターネットからの閲覧・検索URL】 <http://jmapps.ne.jp/iwakunichokokan/>

(3) 資料利用

資料の利用等において、岩国市徴古館条例および岩国市徴古館条例施行規則により実施

- ① 資料利用申込件数 85 件
- ② 資料館外利用申込件数 2 件
- ③ 資料等印刷物掲載許可申請件数 35 件

(4) 資料保存

岩国徴古館職員およびボランティアによる資料補修作業(休止中)

毎週 2 日実施

ボランティア登録 16 人

5. 情報発信

(1) 広報誌

● 広報いわくに（毎月1日号・15日号発行、市内各戸配布）

- ・企画展・講座・イベントの案内
- ・「ふるさと歴史アラカルト」

岩国徴古館学芸員による岩国にまつわる歴史読み物

- ・令和7年9月1日号から月1回（1日号）発行の変更に伴い、「ふるさと歴史アラカルト」の連載終了

掲載号	表題	内容
4月15日号	錦帯橋周辺のお花見事情	当時の新聞（興風時報）から、昭和の岩国地域のお花見について紹介
5月15日号	日本の狂犬病予防の歴史	狂犬病予防の歴史と岩国での狂犬病に関連する資料の紹介
6月15日号	吉川広家とみみずくの手水鉢	横山の吉川家墓所にある、みみずくの手水鉢について紹介
7月15日号	岩国と鳥取を結んだ吉川経家	岩国市と鳥取市をつないだ戦国時代の武将・吉川経家について紹介
8月15日号	献納機「岩国号」・「岩国」・「岩国黒島号」	戦時下の市民と戦争の関わりとして、献納機について紹介

(2) ウェブサイト

● 岩国市公式ホームページ 岩国徴古館

URL：<https://www.city.iwakuni.lg.jp/site/chokokan/>

(3) SNS

● 岩国徴古館 Facebook 公式アカウント @iwknchokokan

URL：<https://www.facebook.com/iwknchokokan/>

● 岩国徴古館 X(旧 Twitter)公式アカウント @iwkn_chokokan

URL：https://twitter.com/iwkn_chokokan/

● 岩国徴古館 Instagram 公式アカウント @iwakuni_chokokan

URL：https://www.instagram.com/iwakuni_chokokan?igsh=aHNnc2FmZGttcGk0&utm_source=qr

● 岩国市 LINE 公式アカウント

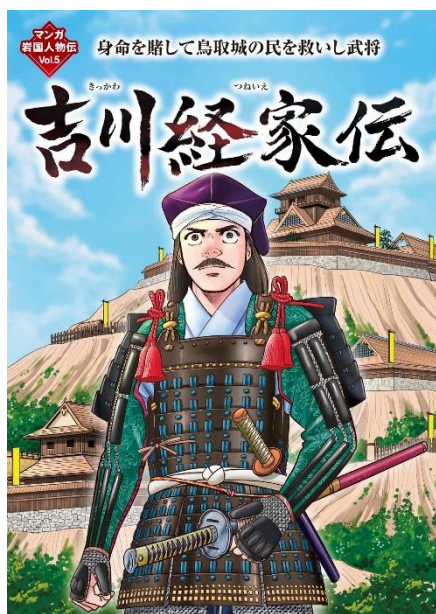
URL：<https://page.line.me/971isqhl?openQrModal=true>

6. 刊行物等

(1) 刊行物等の販売

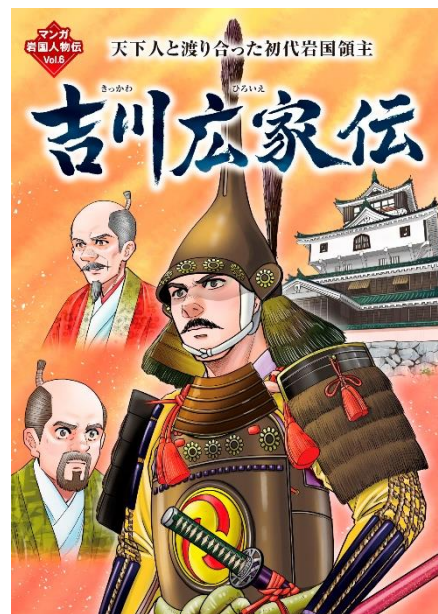
① 刊行物一覧（通信販売可）

No.	名称	金額 (円)	No.	名称	金額 (円)
1	岩国藩の法令集 (1)	完売	25	改訂求邇雑記	400
2	岩国藩の法令集 (2)	300	26	岩国金石文集	完売
3	岩国藩の法令集 (3)	300	27	享保増補村記	5,000
4	岩邑年代記 (1)	400	28	旧岩国藩御家人帳	200
5	岩邑年代記 (2)	400	29	紙方万覚書	200
6	岩邑年代記 (3)	400	30	坂本家文書	200
7	岩邑年代記 (4)	400	31	錦帯橋関係史料集 1	300
8	岩邑年代記 (5)	400	32	資料集「岩邑怪談録」	500
9	岩邑年代記 (6)	400	101	第一回徴古館蔵品展	1,200
10	岩邑年代記 (7)	400	102	第二回徴古館蔵品展	1,200
11	岩邑年代記 (8)	400	103	第三回徴古館蔵品展	800
12	岩邑年代記 (9)	400	104	中国絵画展図録	1,500
13	岩邑年代記 (10)	400	105	中国現代版画展目録	1,200
14	岩邑年代記 (11)	400	106	近世の岩国の和歌展	400
15	団兵御仕成記 (1)	400	107	江碧波展図録	1,400
16	団兵御仕成記 (2)	400	108	現代中国の絵画と書展	800
17	団兵御仕成記 (3)	400	109	曾徳甫展	1,000
18	団兵御仕成記 (4)	400	110	錦帯橋展図録	1,000
19	団兵御仕成記 (5)	400	111	岩国の焼物展図録	1,000
20	岩国地区開作関係資料	100	112	1946年のワケ	900
21	錦帯橋に関する史料	300	113	今田家伝来資料展	800
22	錦川志	300	114	河上左京	1,700
23	岩国藩連歌集	300	115	岩国の俳句	500
24	改訂柳井種痘日記他	300	116	創建 350 年記念錦帯橋展図録	1,200



◀No.221 吉川経家伝

No.222 吉川広家伝▶



201	岩日鉄道の思い出話	150	216	錦見城下町図（大判）	300
202	僧独立と吉川広嘉	400	217	岩国城下町絵図（横山）	200
203	下連城と三須成懋	600	218	岩国城下町絵図（今津・錦見）	200
204	宇都宮遯庵	950	219	ブックレット「岩邑怪談録」	200
205	岩国藩財政史の研究	2,000	220	偉人マンガ「藤岡市助」	500
206	吉川家寄贈図書類目録	600	221	吉川経家伝	200
207	吉川家資料目録藩政資料	900	222	吉川広家伝	200
208	岩国徴古館資料目録	700	299	地図 あき書房	1,000
209	第三代奇兵隊総督赤禰武人	300	309	花押シール	200
210	赤禰武人伝	200	310	御城印（亀尾城）	100
211	吉川経幹伝	200	501	調査報告書 1	500
212	東沢瀉伝	200	502	調査報告書 2	500
213	吉川広嘉伝	200	503	調査報告書 3	500
214	DVD 岩国真話	1,000	504	調査報告書 4	500
215	絵図で見る岩国	600	505	調査報告書 5	500

② その他取扱商品（館内販売のみ）

No.	名称	金額(円)
301	マスキングテープ（錦帯橋）	完売
302	マスキングテープ（岩国のシロヘビ）	200
303	マスキングテープ（U S－2）	300
304	クリアファイル（岩国徴古館）	200
305	クリアファイル（六十余州名所図会 錦帯橋）	200
306	クリアファイル（錦帯橋夜桜）	200
307	クリアファイル（巴水）	200
308	クリアファイル（U S－2）	200
311	クリアファイル（海の姫宮の旅）	100
312	トートバック（吉川広家花押）	800
313	マスキングテープ（錦帯橋図/三戸養因）	500
314	クリアファイル（U S－2・2024）	200
315	ラバーバンド（U S－2×岩国徴古館）	400
316	クリアファイル（犬図）	200
317	オリジナル付箋	300
	絵はがき（各種）	50
	缶バッジ（各種）	200
	缶マグネット（各種）	200

令和7年度企画展記念商品

【企画展1※】

【企画展2】

【企画展3】

【企画展5】

【企画展6】



※資料写真の撮影は羽田洋氏

画像提供は刀剣画報編集部（株式会社ホビージャパン）

○岩国市徴古館条例

平成18年 3 月20日 条例第288号

改正

令和 4 年12月26日 条例第41号

令和 5 年 3 月24日 条例第12号

岩国市徴古館条例

(目的及び設置)

第1条 郷土に係りのある歴史、芸術、民俗及び産業等に関する資料を収集し、保管又は展示をして市民の利用に供するとともに、市民の教養の向上及び学術研究に資することを目的として、岩国徴古館（以下「徴古館」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 徴古館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
岩国徴古館	岩国市横山二丁目 7 番19号

(職員)

第3条 徴古館に、館長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第4条 徴古館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後でその日に最も近い休日でない日）

(2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日までの日

(開館時間)

第5条 徴古館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(利用の許可)

第6条 徴古館の資料（以下「資料」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、前項の許可をする場合において、必要があると認めるときは、条件を付することができる。

(利用の制限)

第7条 市長は、前条の許可を受けようとする者（以下「利用者」という。）の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、利用を許可しない。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 徴古館の施設又は設備を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 前2号に掲げる場合のほか、徴古館の管理上支障があると認められるとき。

(入館料)

第8条 徴古館の入館料は、無料とする。

(入館の制限)

第9条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、徴古館への入館を拒み、又は退館を命じることができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められる者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物（身体障害者が同伴する身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。）の類を携帯する者
- (3) その他徴古館の管理上支障があると認められる者
（目的外利用等の禁止）

第10条 利用者は、許可を受けた目的以外に利用し、又はその利用する権利を譲渡し、若しくは転貸してはならない。

（利用許可の取消し等）

第11条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上必要があると認めるときは、その利用の許可を取り消し、若しくは許可の内容を変更し、又はその利用を停止し、若しくは利用条件を変更することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 許可を受けた利用の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、市長が必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分により、利用者が損害を受けることがあっても、市は、その損害の賠償の責めを負わない。

（原状回復の義務）

第12条 徴古館の入館者又は利用者は、施設の利用が終わったとき、又は前条第1項の規定により利用の許可を取り消され、若しくは利用を停止されたときは、その利用した資料を速やかに原状に回復しなければならない。

（損害賠償の義務）

第13条 故意又は過失により、徴古館の施設、附属設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示に従い、同一種類の代替物若しくは相当の対価を賠償しなければならない。ただし、市長が利用者の責めに帰すことができない特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。

（委任）

第14条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日前に、合併前の岩国市徴古館条例（昭和48年岩国市条例第40号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（令和4年12月26日条例第41号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和 5 年 3 月 24 日 条例第 12 号）
この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

○岩国市徴古館条例施行規則

令和 5 年 4 月 1 日 規則第 38 号

岩国市徴古館条例施行規則

（趣旨）

第 1 条 この規則は、岩国市徴古館条例（平成 18 年 条例第 288 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日及び開館時間）

第 2 条 条例第 4 条ただし書の規定による休館日の変更若しくは臨時の休館を決定したとき、又は条例第 5 条ただし書の規定による開館時間の変更を決定したときは、あらかじめ所定の場所に掲示するものとする。

（資料の利用の手続等）

第 3 条 条例第 6 条第 1 項の規定により、岩国徴古館（以下「徴古館」という。）の所蔵の資料（以下「資料」という。）を利用しようとする者は、徴古館資料利用申込書（様式第 1 号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による許可をしたときは、徴古館資料利用許可書（様式第 2 号）を申込者に交付するものとする。ただし、簡易なものについては、この限りでない。

（館外利用の資格）

第 4 条 資料を館外利用できる者は、次のとおりとする。

- (1) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関
- (2) 社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 10 条に規定する社会教育関係団体
- (3) その他市長が適当と認めるもの

（館外利用を禁止する資料）

第 5 条 館外利用を禁止する資料は、次のとおりとする。

- (1) 貴重品及び破損しやすいもの
- (2) 館内において特に利用度の高いもの
- (3) その他市長が館外利用を不適当と認めるもの

（館外利用の手続等）

第 6 条 資料を館外利用しようとする者は、徴古館資料館外利用申込書（様式第 3 号）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の規定による館外利用の許可をしたときは、徴古館資料館外利用許可書（様式第 4 号）を申込者に交付するものとする。

3 前項の館外利用の許可を受けた者が資料を利用しようとするときは、資料と引換えに当該資料の徴古館資料館外利用借用書（様式第 5 号）を市長に提出しなければならない。

4 市長は、管理上必要があると認めるときは、館外利用の許可をした期間であっても資料を返納させることができる。

5 市長は、前項の規定により市長が指示した日までに資料を返納しないときは、その利用を停止し、又は許可を取り消すことができる。

（資料等の印刷物掲載等の手続等）

第 7 条 資料若しくはその写真等を印刷物に掲載し、又は講演会等で利用しようとする者（以下「申請者」という。）は、徴古館資料等印刷物掲載等許可申請書（様式第 6 号）を市長に提出し、その許可を受けな

ればならない。

2 市長は、前項の規定による許可をしたときは、徴古館資料等印刷物掲載等許可書（様式第7号）を申請者に交付するものとする。

3 第4条、第5条及び前条第3項から第5項までの規定は、資料等の印刷掲載等の許可について準用する。
（入館者及び利用者の遵守事項等）

第8条 徴古館の入館者及び資料の利用者（以下「入館者等」という。）は、市長の指示に従い、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外で火気の使用、飲食又は喫煙をしないこと。
- (2) 許可を受けないで印刷物、広告類等を掲示し、又は配布しないこと。
- (3) 許可を受けないで物品等を販売しないこと。
- (4) 資料を個人情報の特定に利用しないこと。
- (5) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、他人の迷惑となるような行為をしないこと。

2 市長は、入館者等が前項の規定に違反した場合は、その行為の中止を指示し、これに従わないときは退館を命ずることができる。

（損害賠償の手続等）

第9条 入館者等が、条例第13条本文の規定により賠償しようとするときは、次に定めるところにより、市長の承認を受けなければならない。

- (1) 同一種類の代替物をもって賠償しようとするときは、徴古館資料等代替物賠償願（様式第8号）に、当該代替物を添えて提出するものとする。
- (2) 相当の対価をもって賠償しようとするときは、徴古館資料等現金賠償願（様式第9号）に、市長が対価に相当すると認める額の現金を添えて提出するものとする。

2 市長は、条例第13条ただし書の規定により、次に掲げる区分で賠償を免除することができる。

- (1) 全部を免除する場合
ア 入館者等の責めに帰すことができない理由によるとき。
イ その他市長が特別な理由があると認めるとき。
- (2) 一部を免除する場合 前号に規定するもののほか、市長が特に認めるとき。

（寄贈の手続）

第10条 徴古館に実物等を寄贈しようとする者は、徴古館資料寄贈申込書（様式第10号）を市長に提出しなければならない。ただし、簡易なものについては、この限りでない。

（寄託の手続等）

第11条 徴古館に実物等を寄託しようとする者は、徴古館資料寄託申込書（様式第11号）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による寄託に応じた実物等は、資料と同様の取扱いをすることができる。

（備付帳簿）

第12条 徴古館には、次の帳簿類を備え付けなければならない。

- (1) 業務日誌
- (2) 資料台帳
- (3) 備品台帳
- (4) 寄贈及び寄託に関する帳簿
- (5) その他必要な帳簿類

（補則）

第13条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

※紙面の都合により様式第 1～11 号は省略

2026 年 3 月 31 日発行

令和 7 年度岩国徴古館年報

発行 岩国徴古館
岩国市横山二丁目 7 番 19 号